



2013年度(平成26年3月期)  
第2四半期 決算説明会

エーザイ株式会社

2013年11月1日

*hhe*  
human health care

# 将来見通しに関する注意事項



- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

# 2013年度上期 連結業績

## EPSはボトムアウトを達成



(億円、%)

	2012年度上期		2013年度上期		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上高	2,885	100.0	3,075	100.0	107
売上原価	850	29.5	933	30.3	110
売上総利益	2,035	70.5	2,142	69.7	105
研究開発費	574	19.9	704	22.9	123
販売管理費	1,087	37.7	1,084	35.3	100
営業利益	373	12.9	354	11.5	95
経常利益	346	12.0	327	10.6	95
当期純利益	245	8.5	277	9.0	113
EPS (円)	85.90	-	96.97	-	113
Pharma EBIT*1	948	32.9	1,058	34.4	112
キャッシュ・インカム*2	501		520		104

\*1 Pharma EBIT: 営業利益+研究開発費

\*2 キャッシュ・インカム: 成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額

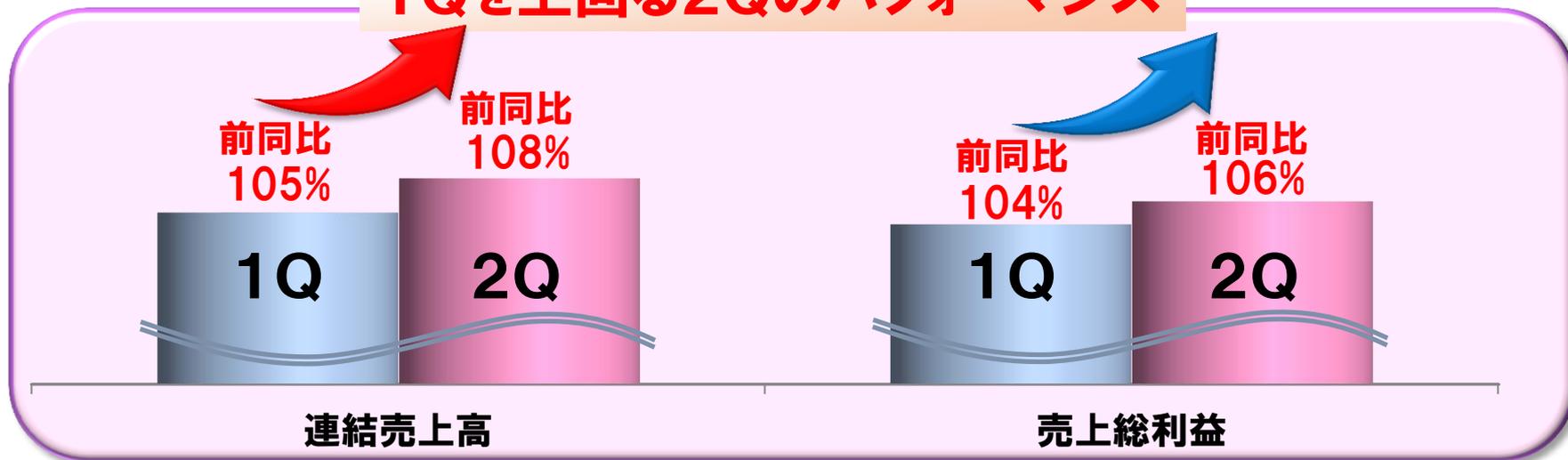
算式: 純損益+有形・無形固定資産減価償却費+インプロセス研究開発費+のれん償却額+減損損失(投資有価証券評価損含む)

2013年度上期期中平均レート: 米ドル: 98.85円(前期変動率+24.5%)、ユーロ: 130.00円(同+29.2%)、ポンド: 152.48円(同+21.5%)

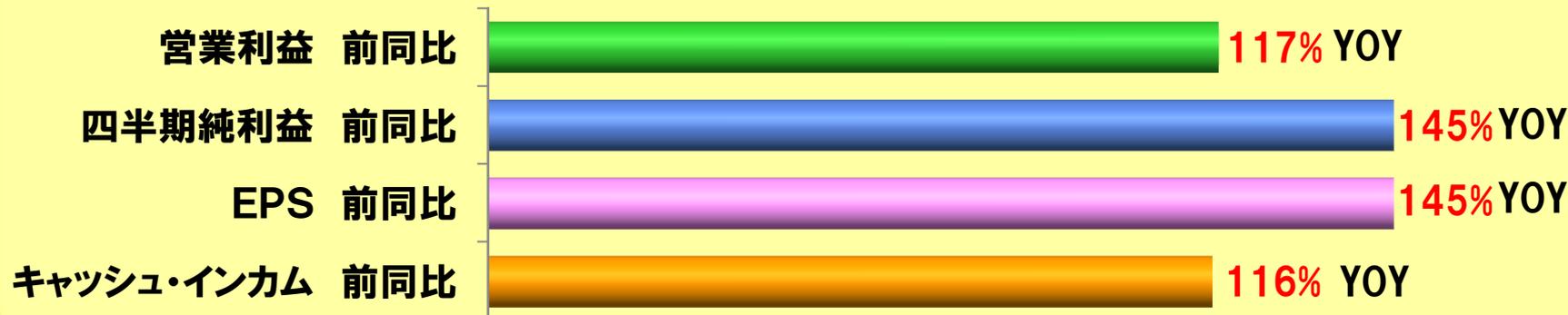
# 力強い2Q(7-9月)の業績



## 1Qを上回る2Qのパフォーマンス

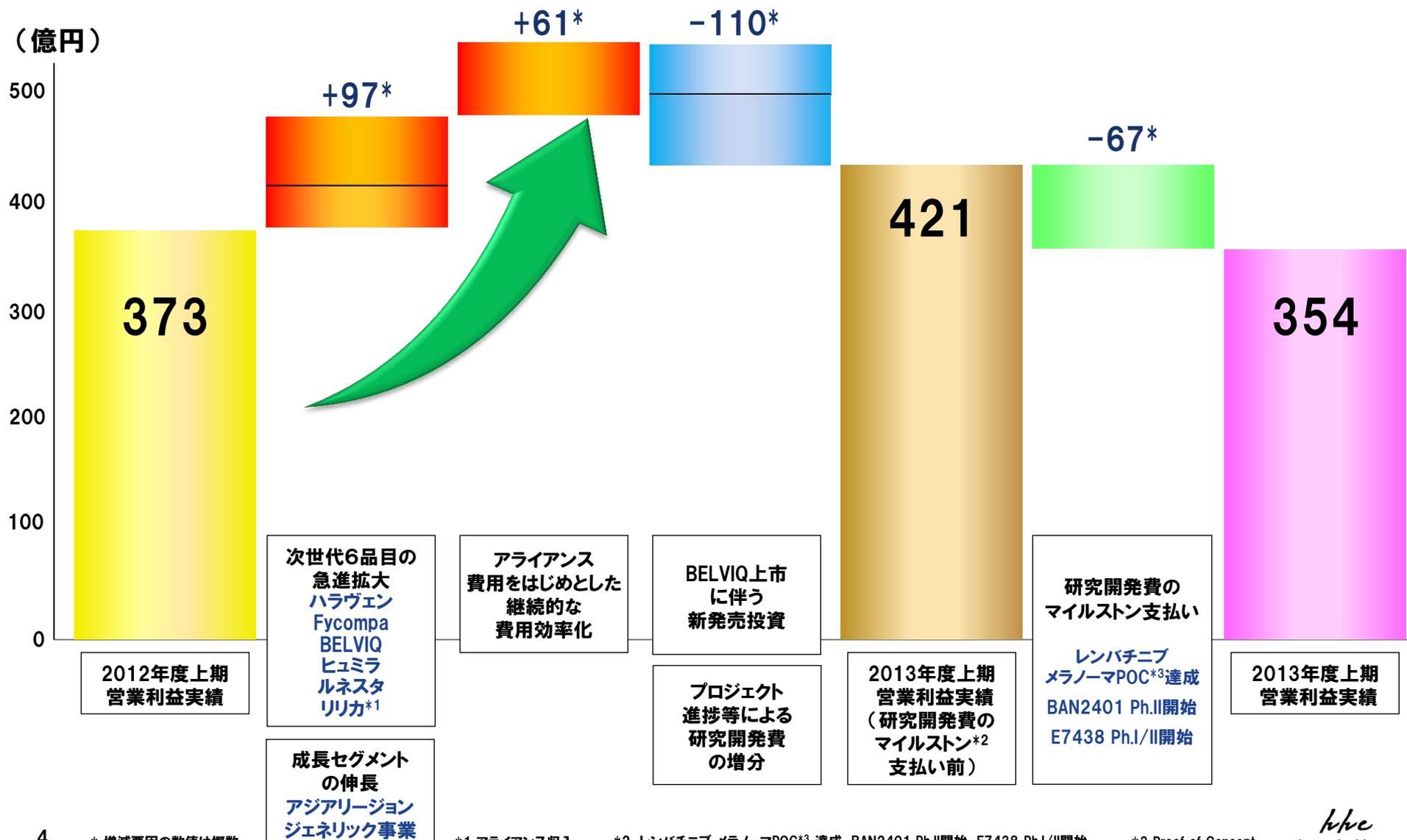


## 2Qは利益項目の前年同期比で高い成長



# 上期 営業利益の増減要因分析

## 研究開発費のマイルストーン支払い前は営業増益



\* 増減要因の数値は概数

成長セグメントの伸長  
アジアリージョン  
ジェネリック事業

\*1 アライアンス収入

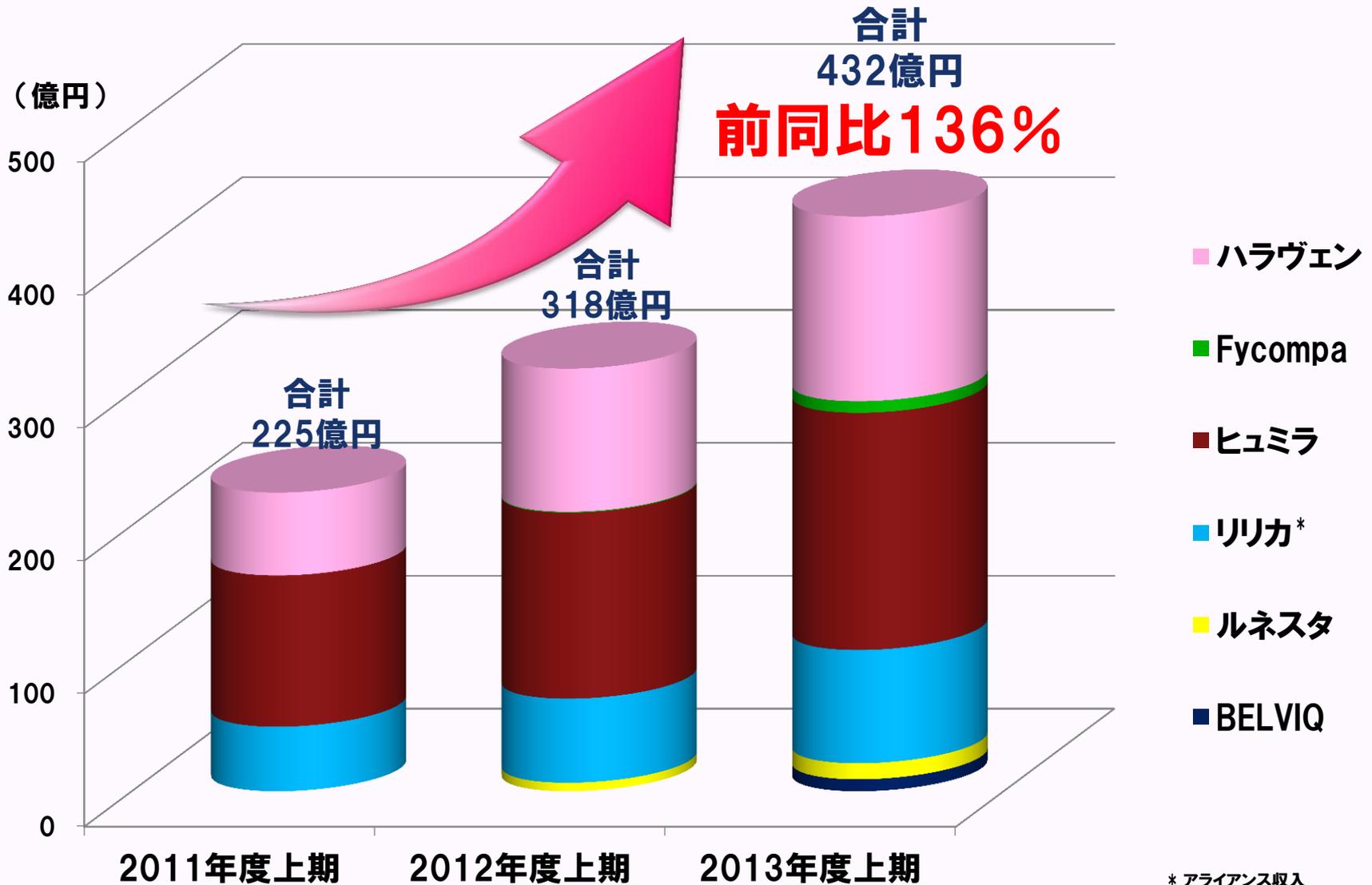
\*2 レンパチニブ メラノーマPOC\*3 達成、BAN2401 Ph.II開始、E7438 Ph.I/II開始

\*3 Proof of Concept



# 次世代6品目の躍進

## 連結売上高増分の6割を占める増収

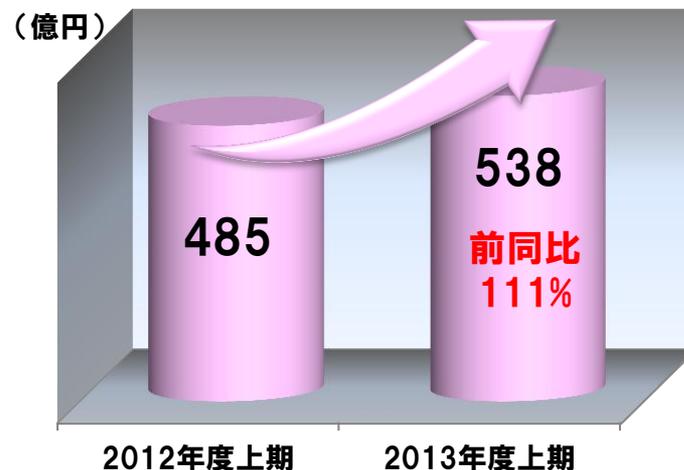


# オンコロジーフランチャイズは前同比111% てんかんフランチャイズは148%の高い成長を達成

(億円、%)

	2012年度上期	2013年度上期	
	実績	実績	前同比
ハラヴェン	108	139	129
Aloxi	179	214	120
Dacogen	88	92	105
Fragmin	53	41	77
トレアキシ ン /シンベンダ	18	20	110
その他	39	31	80
<b>オンコロジー 領域関連製品</b>	<b>485</b>	<b>538</b>	<b>111</b>

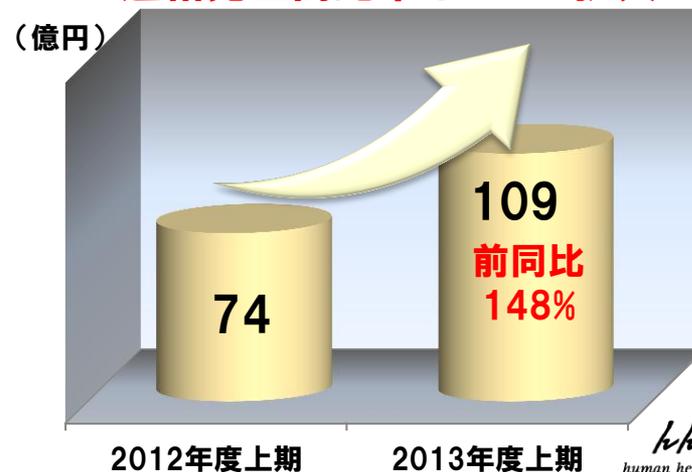
## オンコロジーフランチャイズ 連結売上高比率は17%に拡大



(億円、%)

	2012年度上期	2013年度上期	
	実績	実績	前同比
Fycompa	1	9	1,346
Zonegran	32	44	139
イノベロン/Banzel	32	42	132
その他 *	10	15	155
<b>てんかん領域 関連製品</b>	<b>74</b>	<b>109</b>	<b>148</b>

## てんかんフランチャイズ 連結売上高比率は4%に拡大



# ハラヴェンの製品価値最大化プロジェクト 適応拡大と新たなエビデンスの追究

・フェーズIII試験(302試験)が順調に進行中  
・2013年度中の承認申請をめざす

欧州申請中

乳がん  
(セカンドライン)

非小細胞  
肺がん  
(Late line)

301試験\*1  
追加解析

微小管ダイナミクス阻害作用  
+  
非臨床試験における転移抑制作用  
+  
臨床データでのエビデンスの追究  
無増悪生存期間判定時に新たな転移が見つかった患者様を対象に分析した結果、カペシタビン服用患者様よりもハラヴェン服用患者様で全生存期間が延長  
ハラヴェン 15.5カ月  
カペシタビン 12.9カ月

・フェーズIII試験が順調に進行中  
・日米欧亜2014年度中の同時申請を予定

製品価値  
最大化  
プロジェクト

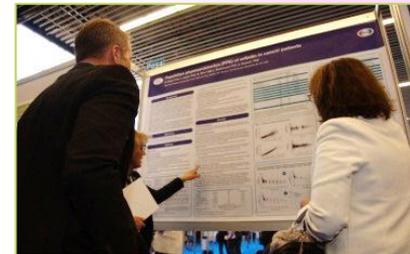
軟部肉腫

HER2ネガティブ  
乳がん  
(ファースト/  
セカンドライン)

リポソーム  
製剤

ACCRU\*2主導の  
フェーズIII試験が  
第3四半期にFPI\*3  
予定

フェーズI試験が順調に進行中



欧州がん学会  
ポスター発表の様子

# Fycompaの製品価値最大化プロジェクト 適応拡大の追究



米国  
DEAスケジューリング  
発効後速やかに  
上市予定

グローバルフェーズIII  
試験が順調に  
進行中  
2014年度中に  
承認申請をめざす

全般てんかん  
(グローバル)

製品価値最大化  
プロジェクト

部分てんかん  
併用  
(日本、中国、  
アジア)

部分てんかん  
小児用製剤  
(欧米)

レノックス・  
ガスター  
症候群

部分てんかん  
単剤

フェーズIII試験  
準備中  
オーファンドラッグ  
指定取得(米国)

グローバルフェーズIII試験準備中

フェーズIII試験  
が順調に進行中

- ・ 欧米:承認済み(34カ国)
- ・ 新興国:15カ国で申請中
- ・ 日本:2014年度申請予定

フェーズII試験  
実施中

# 国内医薬品事業

## アリセプトを中心に活動する地域包括hhcユニット

### 例：新潟統括部

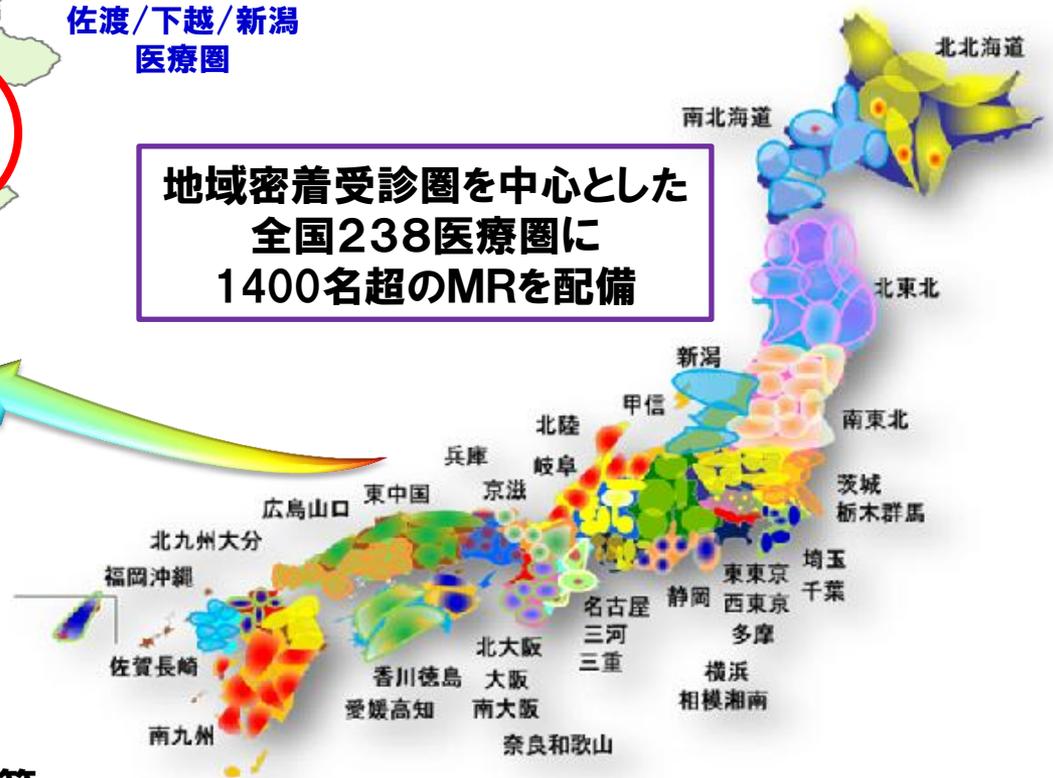
佐渡/下越/新潟  
医療圏

県央/中越/魚沼  
医療圏

上越医療圏

- ◎：認知症疾患医療センター（6施設）
- ☆：認知症サポート医（18人）
- ：認知症患者様の受診行動圏
- ：お導きによる新たな受診行動圏の構築

地域密着受診圏を中心とした  
全国238医療圏に  
1400名超のMRを配備



認知症疾患医療センター、認知症サポート医をはじめとする医療介護に携わる多職種関係者の連携に取り組み  
患者様の早期診断、早期治療に貢献

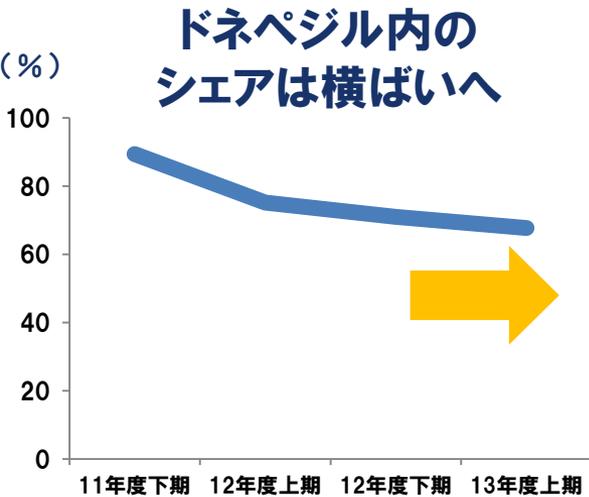
# 国内アリセプト



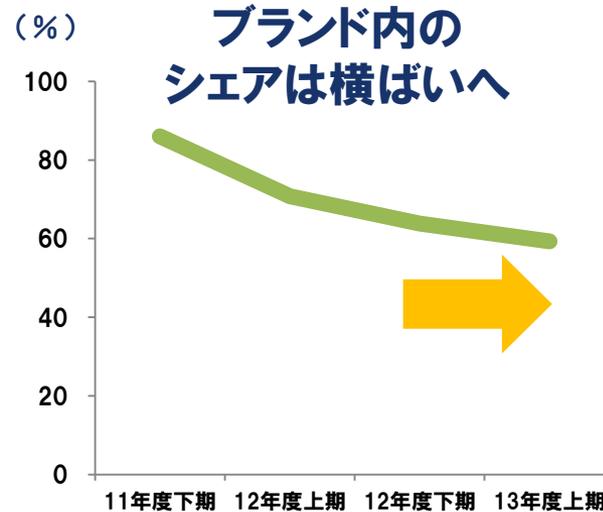
認知症を取り巻く環境変化に対応した継続的な活動が奏功

**2013年度上期計画を達成**  
**356億円、対計画103%**

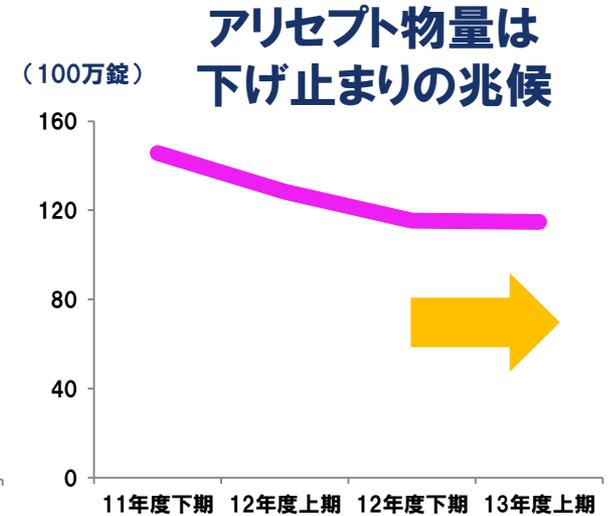
ドネペジル内アリセプト  
シェア推移\*



ブランド内アリセプト  
シェア推移\*



アリセプト物量  
減少数\*



**アリセプトの減少傾向は歯止めがかかりつつある**  
**今年度見通し670億円達成に目処**

# 国内アリセプト



## アリセプトだけができることの徹底追究

アリセプト独自の患者様貢献

① 適応の拡大	レビー小体型認知症の承認申請 ダウン症に伴う退行症状を適応にフェーズII試験開始	
② 既存剤形の改良	飲みやすさ(崩壊性)、調剤のしやすさ(強度)を 追究した世界最小の新D錠10mgの実現	
③ 患者様の声を活かした 剤形の開発	服薬困難な患者様のニーズに対応した ドライシロップ剤上市、パッチ剤開発	LCM*1の 継続的な追究
④ 適正使用情報の伝達	10mgへの増量により想定される副作用対策を はじめとする適正使用情報の絶え間ない提供	
⑤ hhcホットラインの貢献	発売以来14年間休み無く、アリセプトに関する 7万件以上のお問い合わせに対応	
⑥ 保険薬局認知症研修会 の全国展開	認知症患者様とご家族への対応力 向上に関する保有ノウハウを駆使	認知症医療 への徹底的な支援
⑦ 最新エビデンス情報 の発信	他Ach-E阻害剤*2よりも全般臨床症状に有効*3 アリセプト服用と適切なケア介入等で生存期間延長*4	
⑧ 新規エビデンスの創出	新たな観点での患者様貢献に繋がる 特定使用成績調査の実施	新規エビデンス の追究

# 国内ハラヴェン



再発乳がん治療における早期ラインでの患者様貢献の拡大をめざして

## OS\*<sup>1</sup>延長とQOL維持が再発乳がん治療のゴール

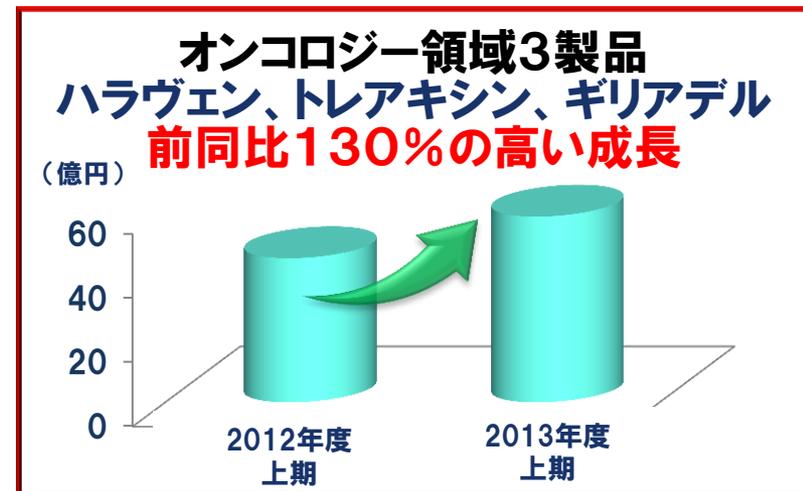
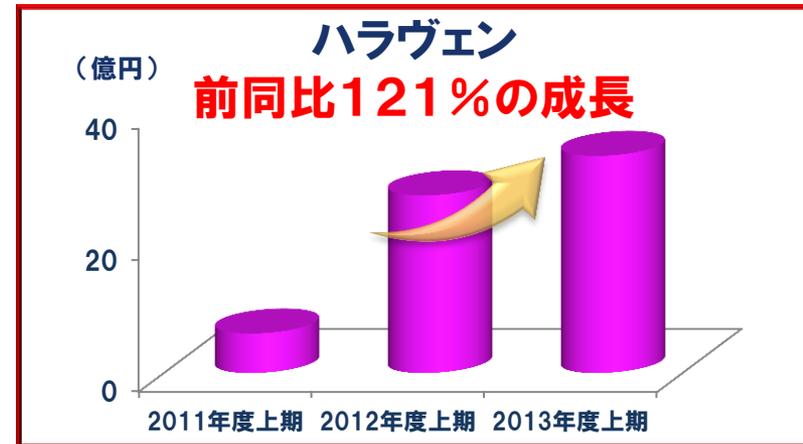
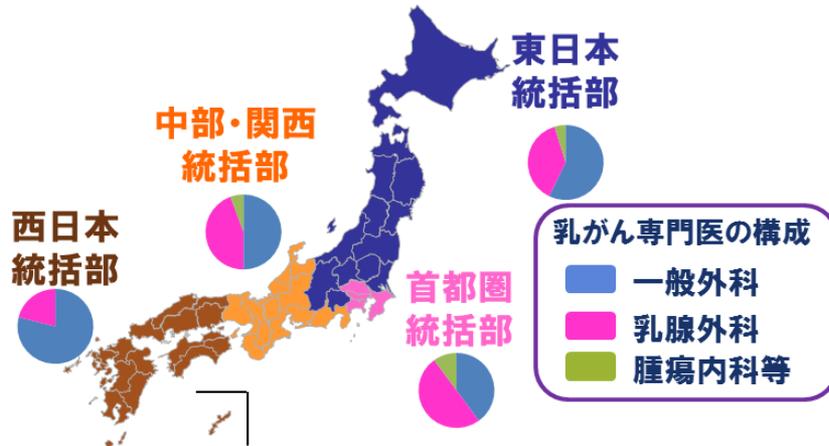
EMBRACE試験、301試験により、早期ラインでよりOSが延長する傾向を確認

### セカンドラインのシェア拡大

80%を占めるトリプルネガティブを含む  
HER2陰性MBC\*<sup>2</sup>での患者様貢献の拡大

7%→14%→23%への向上をめざす

がん診療連携拠点病院である  
397施設での活動を強化

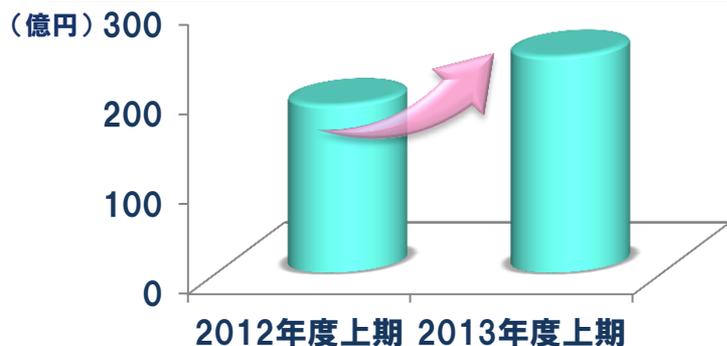


# 好調な国内事業の成長ドライバー

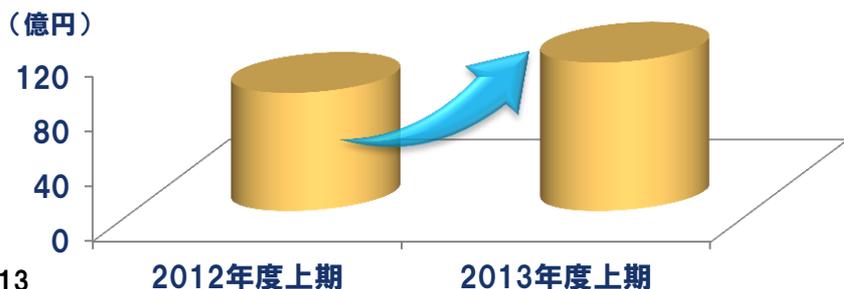


## 国内事業を牽引する成長ドライバー 次世代3品目、ジェネリック事業、薬粧事業

**次世代3品目**  
ヒュミラ、リリカ、ルネスタ  
前同比128%の成長



**ジェネリック事業** 前同比126%の成長



### 薬粧事業

市場全体が成熟化する中で  
ブランド強化と販路開拓により  
前同比103%の成長を達成

キレイと元気を応援するチョコラブランド  
前同比110%

- ✓ ニューメディアなどの活用により  
新たな若年支持層を獲得



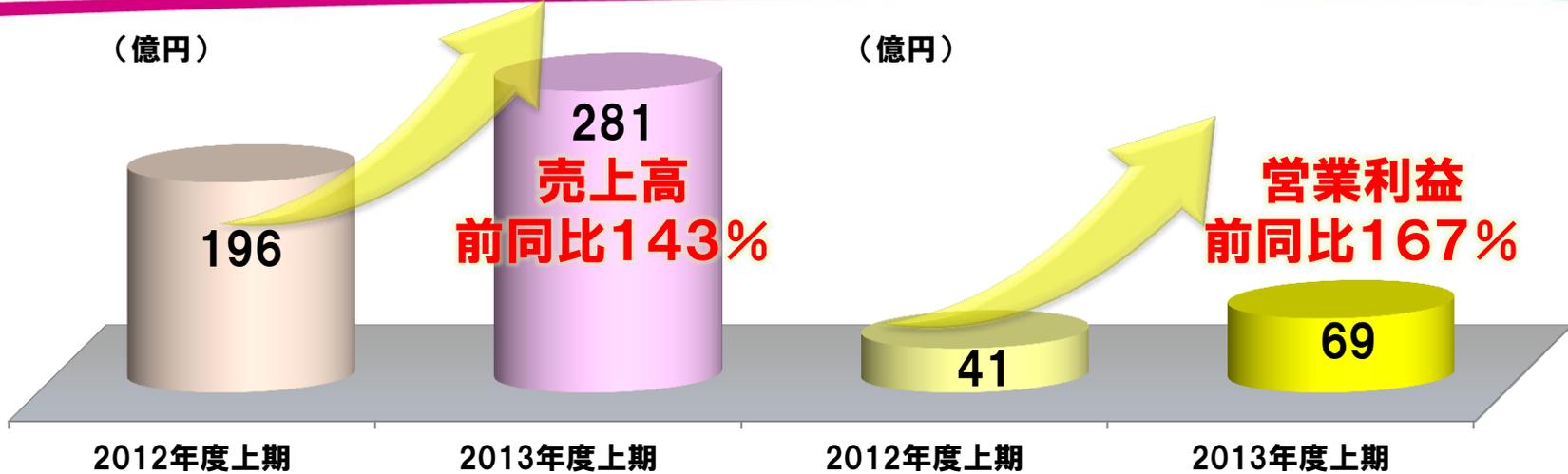
生活者の皆様の美と健康を  
直接応援する通販事業  
前同比137%



- ✓ 美チョコラ、コラーゲン青汁などの新製品  
を発売し、40代の顧客層の支持を獲得

# 急進拡大のアジアリージョン

## エマージングマーケットで連結売上高の約1割を占める



アジア各社 売上高	中国	韓国	香港	台湾	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	フィリピン	インド	合計
上期前同比 (%)	143	145	99	149	134	132	148	148	144	241	143

### 好調なアジアを牽引する中国、韓国

- 中国**
  - 年間売上高300億円超を視野に入れた急成長
  - 主力製品(アリセプト、パリエット、メチコバル)の躍進
  - iPad活用による医療関係者への効率的な情報提供で処方せん増をめざす
- 韓国**
  - 年間売上高100億円超をめざす
  - アリセプト23mg上市により患者様貢献が極大化
  - ハラヴェン上市によるオンコロジー領域の強化

# アリセプト23mgがアジア各国で上市 高度アルツハイマー型認知症の患者様貢献を拡大



## 2013年度に3カ国で上市達成

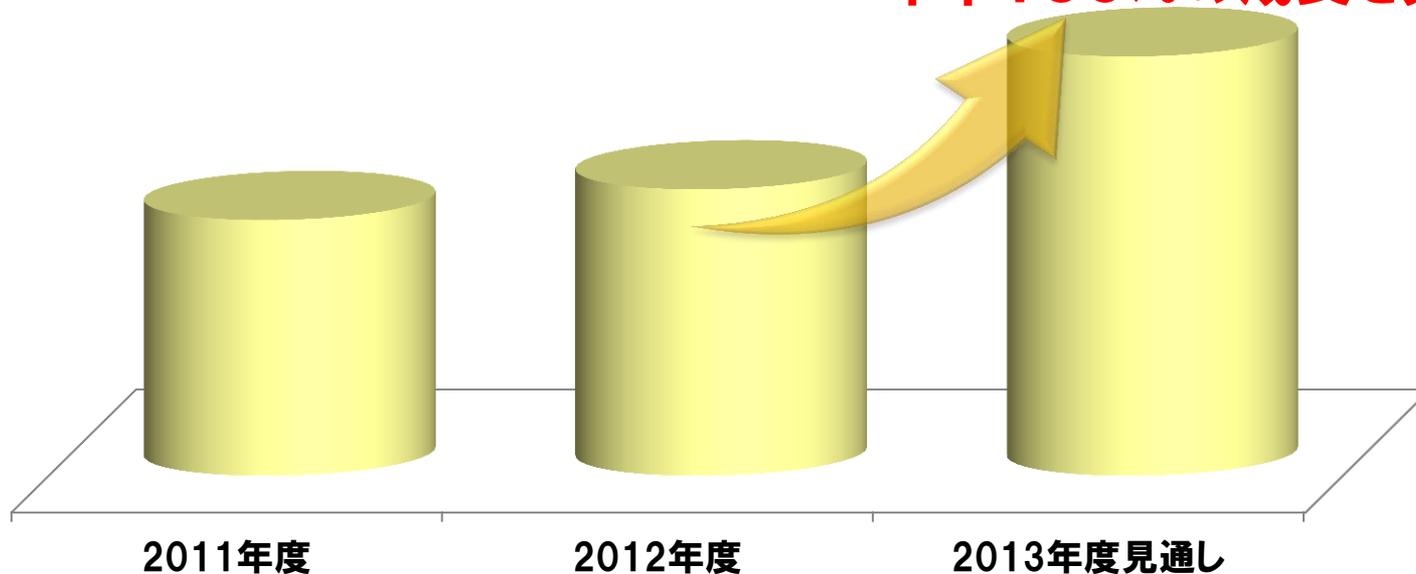
韓国（8月）

インド、香港（10月）

フィリピン、インドネシア、タイ、マレーシアは2014年度上市をめざす

アジアリージョン アリセプト売上高推移  
（円貨ベース）

アリセプト23mg上市により  
年率150%の成長を見込む



ジェネリック参入市場の中で、5mg、10mg、23mgの取り揃えにより  
軽度ADから高度ADまでフルステージの患者様貢献を実現

# 患者様アクセス向上を企図したPricing Policyの進展



インドにおけるハラヴェン貢献患者様数を**8倍に拡大**

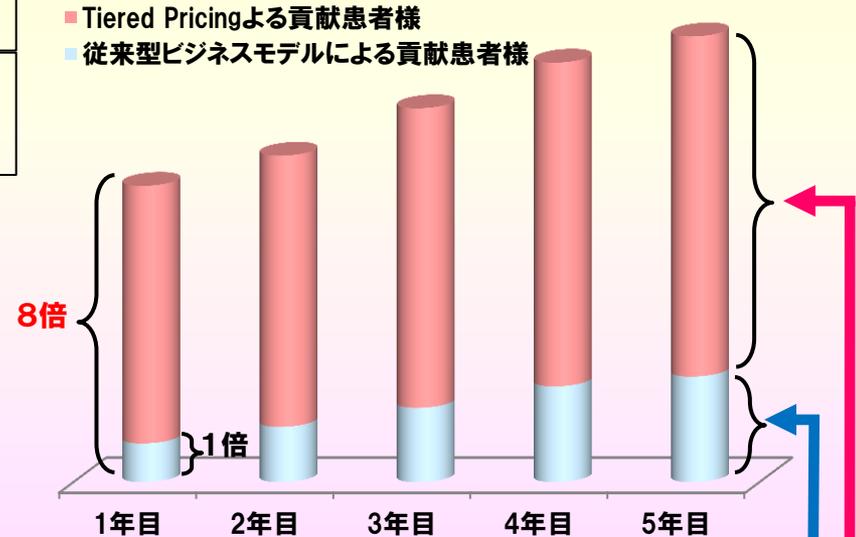
## Tiered Pricing (所得別段階的価格設定)

全額自己負担から4サイクルプライスゼロまで  
段階別に価格を設定

それぞれの患者様の所得水準を考慮した  
きめ細やかな価格設定を実現

低所得の患者様の費用負担を  
最大限に軽減

ハラヴェン貢献患者様の推移 (社内推計)



患者様アクセスの飛躍的向上による  
乳がん患者様への貢献拡大  
+  
Low Margin High Volume Modelへの転換

スキーム	治療サイクル			
	1	2	3	4
従来型 ビジネスモデル	保険償還*1適用 患者様負担*2			
1サイクルプライスゼロ	患者様 一部負担			プライスゼロ
2サイクルプライスゼロ	患者様 一部負担		プライスゼロ	
3サイクルプライスゼロ	患者様 一部負担	プライスゼロ		
4サイクルプライスゼロ	プライスゼロ			

\*1 国家公務員、地方公務員対象の保険。加入者は全人口の5%未満。

\*2 公的保険適用外の富裕層

# リンパ系フィラリア症 制圧に向けて プライスゼロ DEC錠を供給開始へ



イーザイ製DEC錠とボトル

インド バイザッグ工場製造  
リンパ系フィラリア症治療薬ジエチルカルバマジン(DEC)錠  
**顧みられない熱帯病の治療薬において  
製薬企業として初のWHOの事前認定を取得**

**パプアニューギニア、キリバス、フィジー、ツバルへ向け  
2013年10月初出荷  
2020年までに22億錠をプライスゼロで提供**



リンパ系フィラリア症の患者様

## 2.5億人に向けて、WHOによる集団投与が順次開始

### WHO西太平洋地域

- ・パプアニューギニア
- ・キリバス
- ・フィジー ・ツバル
- ・フランス領ポリネシア
- ・ミクロネシア連邦 ・ラオス
- ・サモア ・マレーシア

### WHO東南アジア地域

- ・インドネシア
- ・バングラデシュ
- ・ミャンマー
- ・ネパール
- ・東ティモール

### WHOアメリカ地域

- ・ブラジル
- ・ドミニカ共和国
- ・ガイアナ
- ・ハイチ

### WHO東地中海地域

- ・エジプト

### WHOアフリカ地域

- ・ガンビア ・ケニア
- ・コモロ
- ・マダガスカル
- ・サントメプリンシペ
- ・ザンビア ・ジンバブエ

計26カ国(2013年10月時点)

**開発途上国、新興国における医薬品マーケットの創造  
将来の中間所得者層を育成するための長期的投資**

# BELVIQ さらなる肥満症患者様への貢献拡大



## 保険償還向上、MR増員とDTC\*1開始

### 保険償還

### 保険カバレッジの向上

- Express Scripts、Medco、BCBS NC\*2など主要な保険プランへ導入決定
- 2013年度末までに50%の保険カバレッジ達成をめざす
- 各種保険の見直しプランが導入される2014年1月に上記に加えその他の主要保険プランへの導入をめざす

### MR増員

### 処方医への治療意義の訴求

- MR数を従来の2倍以上の400名超体制へ
- 医師への訪問目標を約26000から約65000へ拡大
- 処方医を対象とした疾患啓発プログラムに医師1000人以上が参加
- 臨床試験(ピボタル試験)の論文が4500回以上ダウンロード

### DTC

### 一般生活者に対する疾患啓発と支援

- 上市からのインターネットと10月開始の雑誌広告を通じて疾患啓発を強化
- BELVIQ患者様支援ウェブサイト「Believe Everyday Support」を通じて患者様へプログラムを提供

**BELVIQ**<sup>®</sup>  
(lorcaserin HCl)<sup>®</sup>



処方医への治療  
意義の訴求

保険カバレッジ  
の向上

一般生活者に対する  
疾患啓発と支援



# BELVIQ Leading Indicatorsが示すポテンシャル

## BELVIQの処方医

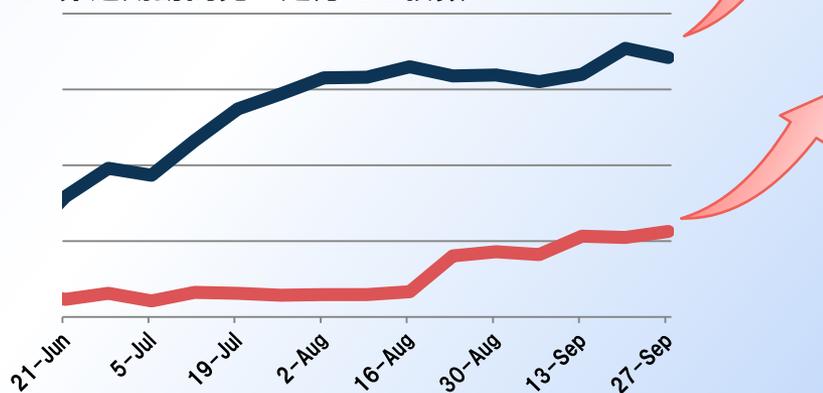
- 医師10000人超がBELVIQを処方
- 総処方せん数の75%以上は定期訪問先  
処方医一人あたりのBELVIQ処方せん枚数も多い傾向



MR増員による定期訪問先の増加と処方医対象の疾患啓発プログラムの継続により処方増を企図

### BELVIQ 処方医動向

- MR定期訪問先の処方せん枚数
- MR非定期訪問先の処方せん枚数



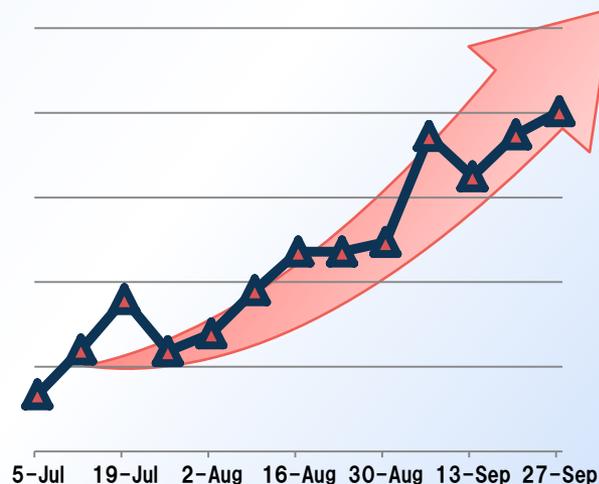
## 患者様アクセスと再処方

- 総処方せん数の約60%\*1はセービングカードおよびFree Trial Voucherを利用
- **総処方せん数の約40%は保険でカバーされる患者様**
- 保険カバレッジ向上をはかり、より多くの患者様の自己負担軽減をめざす
- 再処方の動向を示唆するセービングカード利用率が増加



売上高増へ

セービングカードの利用率 (%) \*2

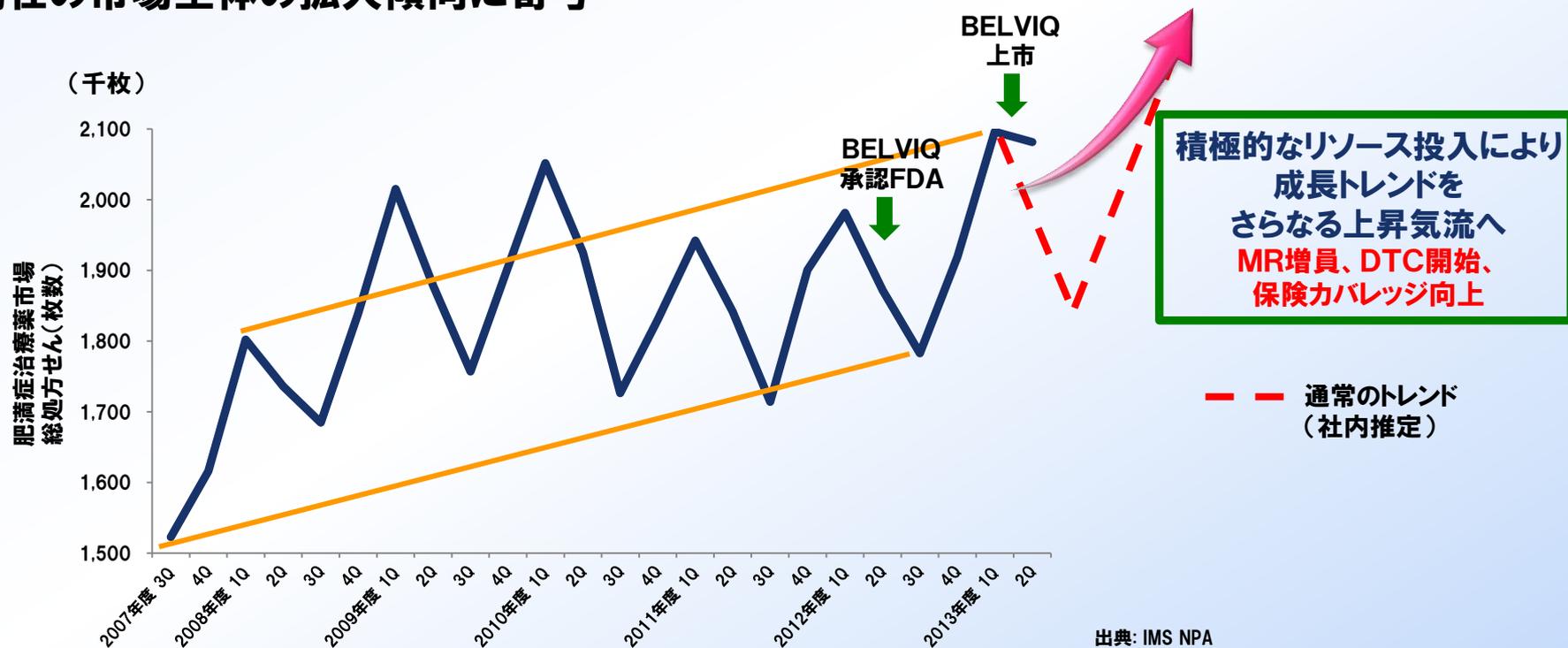


\*1 Symphony Health Solutions

\*2 社内推計

## 市場成長トレンド

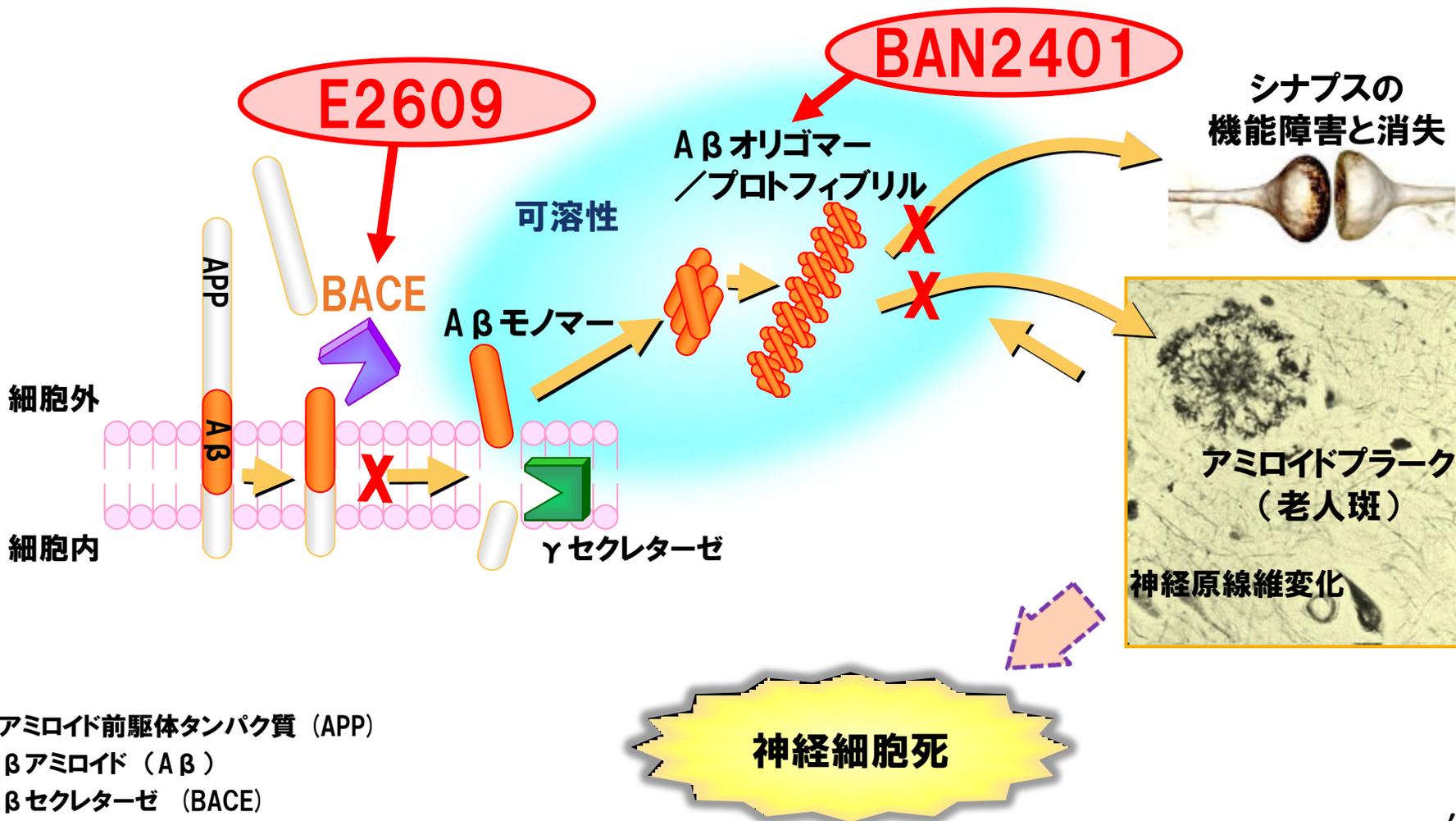
- 肥満症治療薬市場は、7～12月より1～6月に拡大傾向の特徴
- 市場が下降局面に向かうタイミングの中でBELVIQが上市
- BELVIQのFDA承認(2012年6月)や上市(2013年6月)による関心の高さが現在の市場全体の拡大傾向に寄与



出典: IMS NPA  
(TRx include products requiring a prescription in the anti-obesity (Systemic and Non-Systemic) market)

# 疾患発症仮説に基づいた革新的なプロジェクト 次世代アルツハイマー型認知症治療薬創出の追究

## ベータアミロイド仮説に基づく疾患修飾剤



アミロイド前駆体タンパク質 (APP)  
βアミロイド (Aβ)  
βセクレターゼ (BACE)

# E2609

## 自社創製のBACE阻害剤

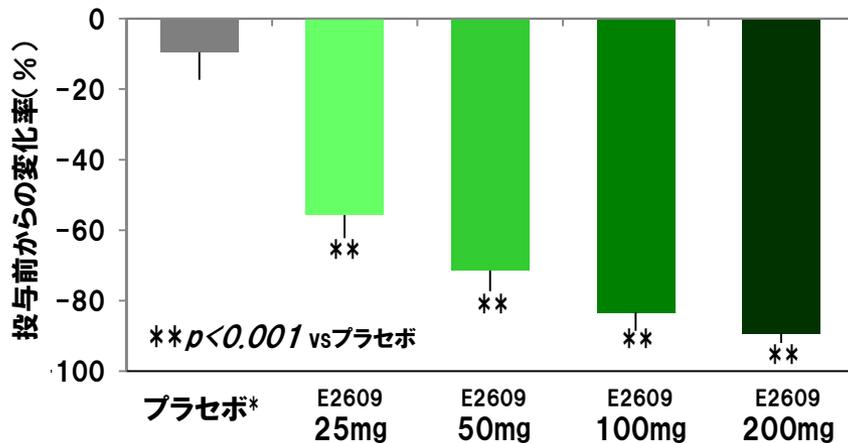


BACE阻害活性により、症状改善だけでなく疾患修飾(原因)療法をねらう  
次世代アルツハイマー型認知症(AD)治療薬

### フェーズ I 試験

- ✓ 対象：健康成人
- ✓ 14日間連続投与で、脳脊髄液(CSF)中のA $\beta$ 量低下作用を確認

投与前と14日間連続投与後のCSF中A $\beta$ (1-x)の変化率



\*プールされたプラセボ群のデータから計算

### フェーズ II 試験

FDAとのミーティングの結果にもとづきフェーズII試験を2013年度第4四半期に開始予定

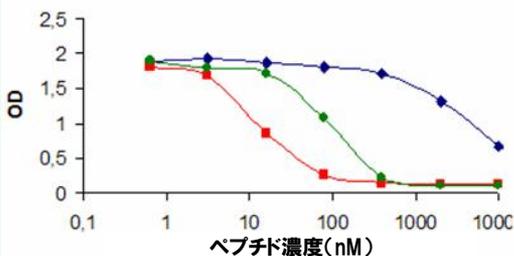
- ✓ 対象：ADに起因するMCI\*<sup>1</sup>と軽度AD患者様の予定
- ✓ アミロイドPET検査でアミロイドの蓄積を確認
- ✓ 評価項目は、エーザイが開発した早期AD患者様の臨床経過と治療効果の感度を高めたコンポジットスコア\*<sup>2</sup>を設定

## Aβプロトフィブリルに対して高い選択性を示すユニークな新規抗体

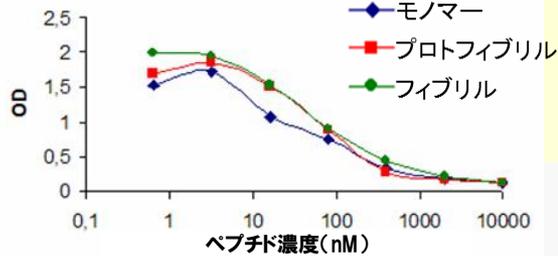
BioArctic社と提携し、アルツハイマー型認知症(AD)の疾患修飾治療薬をめざす  
Aβプロトフィブリルの新規モノクローナル抗体

- ✓ Aβプロトフィブリルに対して高い親和性と高い選択性を示す

mAb158\*1



商用 mAb 6E10\*2



- ✓ *in vitro*でマイクログリアへのプロトフィブリルの取り込みを促進
- ✓ *in vivo*で脳内のプロトフィブリル量を低減
- ✓ 2つの動物実験モデルでアミロイドプラーク量を低減

老齢Tg2576\*3マウスでmAb158の18週間投与により6E10陽性アミロイドプラークが減少

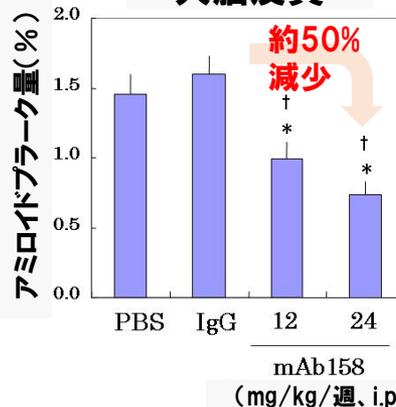
抗体	IC <sub>50</sub> (nmol/L)		IC <sub>50</sub> 比
	Aβプロトフィブリル	Aβ(1-40)モノマー	
BAN2401 (ヒト用抗体)	3.3	3300	1000
mAb158 (マウス用抗体)	5	6000	1200

\*1 mAb158は、ADの免疫療法で用いる治療用抗体として、トランスジェニックマウスモデルを使った実験用に作成されたマウス抗体。BAN2401はmAb158をヒト化した抗体。

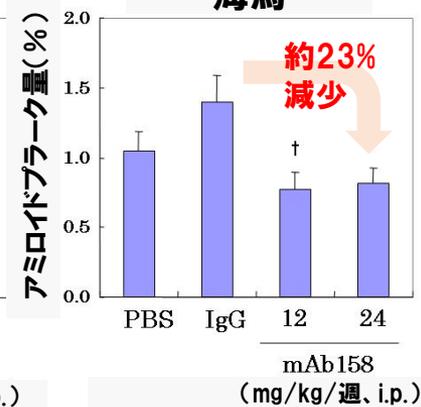
\*2 βアミロイド抗体(クローン6E10)は、N末端をエピトープとする市販されている抗体。様々な形態のAβと反応し、ADの脳病理組織中のアミロイドプラークを検出する目的で一般的に使われる。

\*3 Tg2576マウスは、Sweden型遺伝子変異をもつヒトAPP695を過剰発現し、老化に伴い記憶障害とプラークを生じるトランスジェニックマウス。

大脳皮質



海馬



## ユニークで革新的なアダプティブデザインを採用した臨床試験

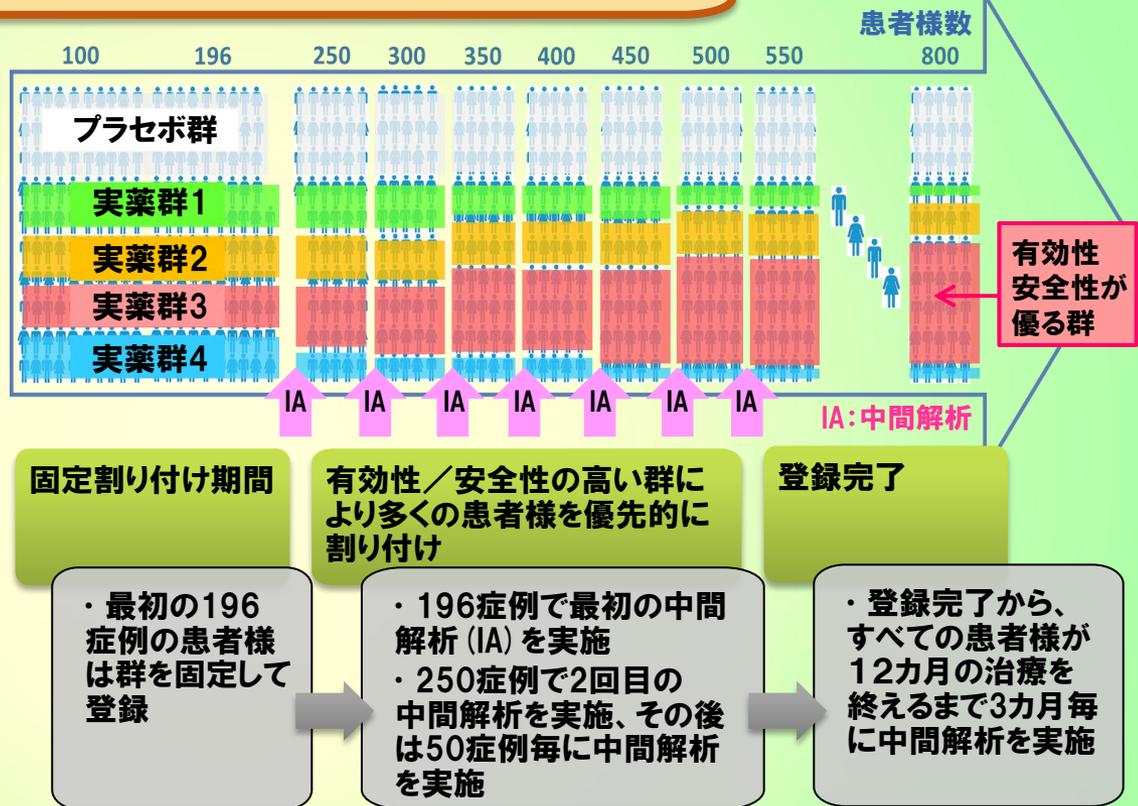
### フェーズII試験が順調に進行中

**目的:**  
治療効果の確認 (POC)

**対象:**  
イメージングにより診断されたADに起因するMCI\*1患者様と軽度AD患者様

**試験デザイン:**  
新規のベイジアンアダプティブデザイン\*2

**エンドポイント:**  
エーザイが新しく開発したコンポジットスコア\*3

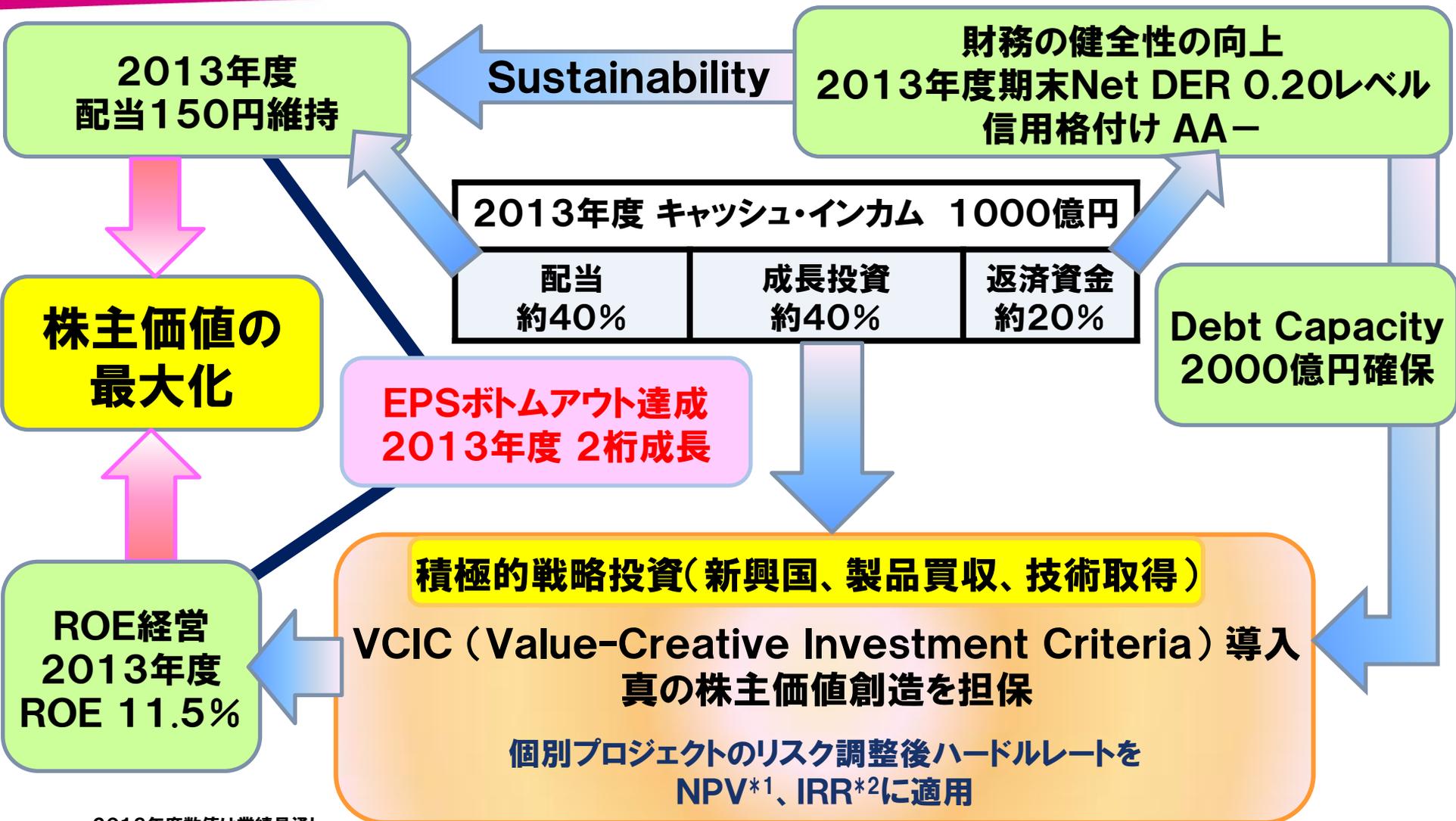


- 121例 組み入れ済み(2013年10月22日現在)
- 最初の間中解析を2013年度第4四半期に予定

\*1 MCI: Mild cognitive impairment 軽度認知障害 \*3 ADAS-Cog, MMSE, CDRの診断項目からなる新規のスコア  
\*2 中間解析の結果に基づいて、進行中の臨床試験のデザインを適応的(アダプティブ)に変更する多段階試験の総称

# 株主価値創造の概念フレームワーク

## 積極的な投資を支える財務戦略



2013年度数値は業績見通し

\*1 NPV: Net Present Value 正味現在価値法

\*2 IRR: Internal Rate of Return 内部収益率法

# 2013年度 連結業績見通し

## EPSのボトムアウト達成による株主価値の向上

(億円、%)

	2012年度		2013年度		
	実績	売上比	見通し	売上比	前期比
売上高	5,737	100.0	5,780	100.0	101
売上原価	1,741	30.3	1,805	31.2	104
売上総利益	3,996	69.7	3,975	68.8	99
研究開発費	1,204	21.0	1,275	22.1	106
販売管理費	2,087	36.4	1,915	33.1	92
営業利益	705	12.3	785	13.6	111
経常利益	656	11.4	749	13.0	114
当期純利益	483	8.4	532	9.2	110
Pharma EBIT*1	1,908	33.3	2,060	35.6	108
EPS(円)	169.4		186.6		
ROE(%)	10.9		11.5		
Equity Spread(%) <sup>*2</sup>	2.9		3.5		
DOE(%)	9.6		9.2		
キャッシュ・インカム <sup>*3</sup>	1,007		1,000		
配当金(円)	150		150		

\*1 Pharma EBIT: 営業利益+研究開発費 \*2 Equity Spread = ROE - 株主資本コスト(%)

\*3 キャッシュ・インカム: 成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額

算式: 純損益+有形・無形固定資産減価償却費+インプロセス研究開発費+のれん償却額+減損損失(投資有価証券評価損含む)

2012年度期中平均レート 米ドル: 83.10円、ユーロ: 107.14円、ポンド: 131.13円 2013年度期中平均予想レート 米ドル: 95円、ユーロ: 125円、ポンド: 145円

# 参考資料

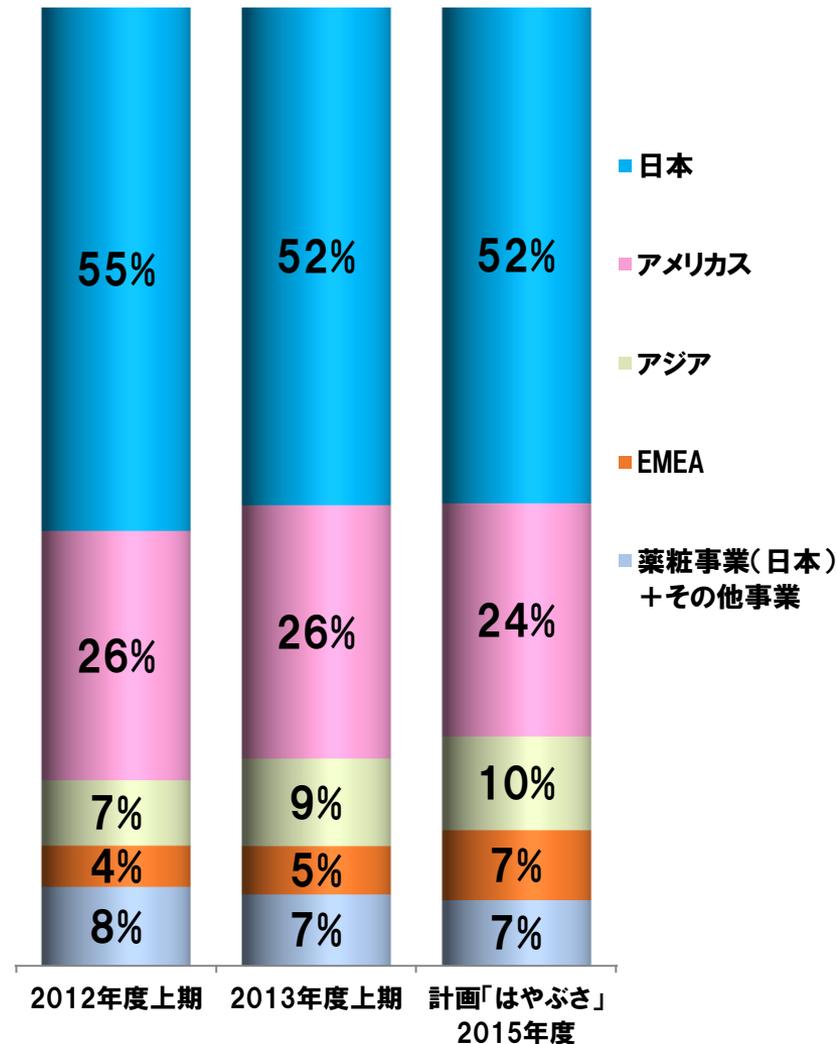
# セグメント売上高



(億円、%)

	2012年度上期		2013年度上期		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前同比
日本*1	1,575	54.6	1,598	52.0	101
アメリカス*2 [百万米ドル]	752 [947]	26.1	813 [823]	26.4	108 [87]
アジア*3	196	6.8	281	9.1	143
EMEA*4	125	4.3	155	5.0	124
薬粧事業(日本)*5	103	3.6	105	3.4	103
報告セグメント計	2,751	95.4	2,952	96.0	107
その他事業	134	4.6	123	4.0	92
連結売上高	2,885	100.0	3,075	100.0	107

[ ]内は現地通貨ベース



日本、アメリカス、アジア、EMEAは医薬品事業

またアメリカス医薬品事業の現地通貨ベースセグメント売上高は期中平均レートに基づき算出

\*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬

\*2 北米、中南米

\*3 中国、韓国、台湾、インド、アセアン

\*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

\*5 一般用医薬品

# セグメント利益



(億円、%)

	2012年度上期			2013年度上期				
	セグメント利益	構成比	利益率	セグメント利益	構成比	利益率	前同比	前同差
日本*1	696	70.3	44.2	832	75.1	52.1	119	136
アメリカス*2 [百万米ドル]	167 [210]	16.8	22.1	111 [113]	10.0	13.7	67 [54]	△55 [△97]
アジア*3	41	4.2	21.2	69	6.2	24.6	167	28
EMEA*4	6	0.6	4.5	15	1.4	10.0	272	10
薬粧事業(日本)*5	17	1.8	16.9	18	1.6	17.0	103	0.5
報告セグメント計	927	93.6	33.7	1,045	94.4	35.4	113	118
その他事業	63	6.4	47.1	62	5.6	50.8	99	△1
研究開発費および 親会社の本社管理費等	△617			△754			122	△137
連結営業利益	373		12.9	354		11.5	95	△20

日本、アメリカス、アジア、EMEAは医薬品事業、またアメリカス医薬品事業の現地通貨ベースセグメント利益は期中平均レートに基づき算出

\*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬 \*2 北米、中南米 \*3 中国、韓国、台湾、インド、アセアン

\*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア \*5 一般用医薬品

[ ]内は現地通貨ベース

*hbc*  
human health care

# アリセプト パリエット/アシフェックス売上高



## アリセプト (億円、%)

## パリエット/アシフェックス (億円、%)

	2012年度 上期	2013年度 上期	
	実績	実績	前同比
日本*1	403	356	88
アメリカス*2 [百万米ドル]	74 [94]	29 [29]	39 [31]
アジア*3	39	59	154
EMEA*4	18	9	52
計	534	453	85

	2012年度 上期	2013年度 上期	
	実績	実績	前同比
日本*1	257	251	98
アメリカス*2 [百万米ドル]	234 [295]	306 [309]	131 [105]
アジア*3	22	27	124
EMEA*4	19	3	15
計	533	587	110

[ ]内は現地通貨ベース

[ ]内は現地通貨ベース

\*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬 \*2 北米、中南米 \*3 中国、韓国、台湾、インド、アセアン \*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

# 日本医薬品事業の業績



(億円、%)

	2012年度上期		2013年度上期		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上高	1,575	100.0	1,598	100.0	101
医療用医薬品計	1,460	92.7	1,460	91.4	100
アリセプト	403	25.6	356	22.3	88
パリエット	257	16.3	251	15.7	98
ヒュミラ	118	7.5	144	9.0	122
メチコバル	134	8.5	133	8.3	100
アクトネル	46	3.0	41	2.6	89
ジェネリック医薬品	86	5.4	108	6.8	126
診断薬	29	1.8	29	1.8	101
セグメント利益	696	44.2	832	52.1	119

# アメリカス医薬品事業の業績



(億円、%)

		2012年上期		2013年上期		
		実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上高		752	100.0	813	100.0	108
アリセプト		74	9.9	29	3.5	39
アシフェックス		234	31.1	306	37.6	131
	ハラヴェン	58	7.7	65	8.0	112
	Aloxi	179	23.8	214	26.3	120
	Dacogen	88	11.7	92	11.3	105
	MGI計	278	36.9	312	38.4	112
	Fragmin	53	7.1	41	5.1	77
がん関連領域計		406	54.0	419	51.5	103
セグメント利益		167	22.1	111	13.7	67

# 米国医薬品事業の業績



(百万米ドル、%)

	2012年上期		2013年上期		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上高	946	100.0	820	100.0	87
アリセプト	94	9.9	29*	3.6	31
アシフェックス	295	31.2	309	37.7	105
ハラヴェン	73	7.7	64	7.9	89
Aloxi	225	23.8	217	26.4	96
Dacogen	110	11.7	93	11.4	84
MGI計	350	37.0	316	38.5	90
Fragmin	67	7.1	42	5.1	62
がん関連領域計	511	54.1	422	51.5	83

\* アリセプト23mgの売上高\$19Mを含む

# アジア医薬品事業の業績



## <アジア>

(億円、%)

	2012年度上期		2013年度上期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	
売上高	196	100.0	281	100.0	143	[113]
アリセプト	39	19.8	59	21.2	154	[121]
パリエット	22	11.2	27	9.7	124	[99]
メチコバル	51	25.9	76	27.1	150	[118]
ヒュミラ	22	11.1	34	12.3	158	[126]
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	23	11.7	25	8.8	108	[84]
セグメント利益	41	21.2	69	24.6	167	[124]

[ ]内は現地通貨ベース

## <中国>

(百万RMB、%)

	2012年度上期		2013年度上期		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上高	835	100.0	932	100.0	112
メチコバル	356	42.7	403	43.2	113
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	180	21.6	151	16.2	84
アリセプト	86	10.3	111	11.9	129
パリエット	53	6.4	62	6.7	117

# EMEA医薬品事業、薬粧(一般用医薬品等)の業績



## <EMEA\*1>

(億円、%)

	2012年度上期		2013年度上期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	
売上高	125	100.0	155	100.0	124	[97]
ハラヴェン	22	17.9	40	25.9	180	[141]
ゾネグラン	22	17.2	32	20.8	149	[117]
アリセプト	18	14.1	9	5.9	52	[41]
パリエット	19	15.5	3	1.9	15	[12]
Fycompa	1	0.5	8	5.4	1323	[1040]
セグメント利益	6	4.5	15	10.0	272	[84]

\*1 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

[ ]内は現地通貨ベース

## <薬粧-日本>

(億円、%)

	2012年度上期		2013年度上期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	
売上高	103	100.0	105	100.0	103	
チョコラBBグループ	57	56.1	63	59.8	110	
セグメント利益	17	16.9	18	17.0	103	

# 主要パイプライン一覧表



## フェーズI

## フェーズII

## フェーズIII

## 申請中

がん

E7050  
固形がん

レンバチニブ+E7050  
固形がん

PRI-724  
血液がん

E7438  
血液がん

ハラヴェン  
乳がんネオアジュバント

ハラヴェン  
乳がんアジュバント

レンバチニブ  
腎細胞がん

レンバチニブ  
子宮内膜がん

レンバチニブ  
メラノーマ

レンバチニブ  
非小細胞肺がん  
(RET転座)

ファルレッズマブ  
非小細胞肺がん

MORAb-004  
肉腫

レンバチニブ  
グリオーマ

MORAb-004  
大腸がん

MORAb-004  
メラノーマ

ハラヴェン  
乳がん1stライン

レンバチニブ  
甲状腺がん

ハラヴェン  
軟部肉腫

ハラヴェン  
非小細胞肺がん

E7040  
多血性腫瘍に対する塞栓材

レンバチニブ  
肝細胞がん

ファルレッズマブ  
プラチナ感受性  
卵巣がん

ハラヴェン  
乳がん2ndライン  
(欧州)

神経

アリセプト  
パッチ製剤

E2609  
AD  
Ph.II準備中

BAN2401  
AD

E2006  
不眠症  
Ph.II準備中

アリセプト  
ダウン症候群の退行様症状  
(日本)

Fycompa  
部分てんかん単剤 Ph.III準備中

Fycompa  
レノックス・ガストー症候群 Ph.III準備中

E0302  
ALS\*2

Fycompa  
全般てんかん

アリセプト  
レビー小体型認知症  
(日本)

免疫  
他

E6011(KANAb001)  
炎症性腸疾患

E1224  
シャーガス病

Avatrombopag  
特発性血小板減少性紫斑病

Avatrombopag  
aTLD\*1